

ミニレター

あぜみち通信

* * * * *

平成22年4月1日

112号

編集・発行：愛知県農業会議

出版代表企画員会議、同補佐会議が開催されました

3月2日に代表企画委員補佐会議が熱海市で、同月8日に代表企画委員会議が茨城県で開催されました。

全農図書の普及は、本年度改正農地法等関連の需要が大きく影響し、2月末時点で、売上額が448百万円に達し、対前年比107%でした。

平成22年度は、農地制度実施円滑化事業が新規に開始されます。農業委員、職員はもとより、広く農地制度の啓蒙普及を行うためにも、より一層の全農図書の活用を図っていくことが協議されました。

農業委員会職員等研修会を開催しました

3月3日に、アイリス愛知(名古屋市中区)で、農業委員会職員、県農林水産事務所職員等80余名の出席を得て、農業委員会職員等研修会を開催しました。

改正農地法等は、昨年12月15日に施行されましたが、現場での実務上の課題も残っているため、その確認・周知を行いました。また、新農地制度においては、すべての農地の情報を適確に把握する必要があり、そのためには、農地基本台帳整備がますます重要となることから、その電子化の取組みの現状について岡崎市農業委員会から、水土里情報システムについて愛知県土地改良事業団体連合会から、それぞれ事例報告を行っていただきました。

さらに、平成22年度を目前に控えて、農業会議の新年度事業計画の概要をお伝えし、情報事業の普及推進及び農業者年加入推進をお願いしました。

愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会の幹事会が開催されました

3月4日に、白壁庁舎において、3月19日開催の臨時総会に向けて幹事会が開催されました。

愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会は、昭和60年8月に設立され、現在まで長年、農業後継者のご成婚を実現するため、各種事業を実施してきました。しかし、愛知県財政が厳しい状況となり、運営費補助金が大幅に削減されること、県健康福祉部の「あいち出会いサポート事業」が実施されることとなったことから、3月19日開催の臨時総会で協議会の解散を提案することになりました。幹事会では、協議の結果、全会一致で、提出議案が決定されました。

全国農業会議所通常総会が開催されました

3月11日、東京都千代田区 海運クラブで全国農業会議所第56回通常総会が開催され、事務局長が出席しました。

太田会長は、改正農地法等により、ますます系統組織として適正な事務執行に努めていかなければならないことを強調し、組織挙げてその体制整備に取り組むよう求めました。

また、今井農水省経営局長は、農業委員会関係予算を厳しい予算状況の中で確保したので、特に、農地制度円滑化事業費補助金については、十分活用して円滑な運用を図ってほしいと述べました。

総会では、新年度事業計画及び収支予算等の議案が原案通り承認されました。

賛助団体会議を開催しました

3月10日、白壁庁舎会議室で、賛助団体会議を開催しました。

3月25日に開催する愛知県農業会議の平成21年度第2回総会の議案等について、賛助団体に説明しました。第2回総会は、平成22年度事業計画等が総会議案の中心となりますので、予定する事務事業及び歳入歳出予算並びに関連議案等を説明しました。

支部長会議を開催しました

3月16日、白壁庁舎において、支部長会議を開催しました。

3月25日に開催する愛知県農業会議の平成21年度第2回総会の議案等について、支部長に説明しました。第2回総会は、平成22年度事業計画等が総会議案の中心となるので、付議する事務事業及び歳入歳出予算並びに関連議案等を説明し、総会における運営の協力を依頼しました。

常任会議員会議（3月）の審議状況

農地法に係る諮問に関する常任会議員会議を3月16日に開催しました。

農地法第4条に基づく転用事案 25件(平成21年3月 32件) 6,495㎡(同 11,353㎡)及び第5条に基づく転用事案 229件(同 232件) 175,611㎡(同 221,521㎡)に係る諮問について審議し、何れも諮問のとおり許可されることは差し支えない旨知事あてに答申することが承認されました。

平成21年度中の主な審議件数、面積は次のとおりでした。

農地法第4条許可に係る諮問 378件 183,274㎡[昨年度 377件 162,171㎡]

農地法第5条許可に係る諮問 2,818件 2,448,898㎡[同 3,440件 3,074,583㎡]

農振法の開発行為に係る諮問 3件 7,310㎡[同 8件 29,915㎡]

また、事務局長から、3月25日開催予定の総会に付議する議案の説明及び農業経営基盤強化の促進に関する基本方針の変更内容等の報告を行いました。

愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会の役員会及び臨時総会が開催されました

3月19日白壁庁舎において愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会の役員会及び臨時総会が開催されました。

愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会は昭和60年に農業委員会系統組織と農業協同組合系統が一緒になって設立し、男女交流会や結婚相談員研究会などの各種事業に取り組み、この25年間で1,607組のご成婚を実現してきました。

しかしながら、愛知県財政が非常に厳しく本協議会への補助金が大幅に減額されることから平成22年度の活動が困難となることや、県健康福祉部の新たな「あいち出会いサポート事業」が、本協議会の主要事業である「ヤングフェスティバル事業」の事業内容を取り込むことができ、本協議会の発展的解消を図ることができることから、解散を提案し、役員会及び臨時総会で承認されました。

愛知県農業会議平成21年度第2回総会を開催しました

3月25日に、愛知県水産会館において、平成21年度第2回総会を開催しました。

平成21年度の主な会務報告や決算見込みを事務局長が説明しました。

来賓には、永田愛知県農林水産部長、鈴木愛知県議会副議長、竹森東海農政局長、平野愛知県農協中央会副会長ほか県農林水産事務所長の出席をいただきました。

総会は、平成22年度を迎えるに当たって必要な事業計画、歳入歳出予算、賛助会費の賦課などを議案とし、全議案とも満場一致で承認されました。

また、熊澤尾張支部長から、「新たな農地制度の施行に関する申合せ決議」の提案があり、承認されました。今後、本県農業委員会系統組織を挙げて、この決議を関係機関に要請していくこととなりました。

地域活動推進支援研修会を開催しました

3月25日愛知県農業会議第2回総会終了後、愛知県担い手育成総合支援協議会との共催で地域活動推進支援研修会を開催しました。

講師は全国農業会議所 農地・組織対策部長の伊藤嘉朗氏により、「新たな農地制度の推進と農業委員会系統組織の対応について」をテーマに、昨年12月15日に施行された改正農地法等に対する農業委員会の役割について説明がありました。

愛花協だより(知事お祝いメッセージ、会長色紙贈呈)

豊橋市 杉浦好洋さん・多加根さん (2月3日挙式)

田原市 森浩樹さん・こず恵さん (3月22日挙式)

ご結婚おめでとうございます。一層のご活躍とご多幸を祈ります。

愛知県農業会議事務局の新体制（平成22年4月1日）

事務局長	佐久間 正 明
総務課長	早 川 完 治（新）[前愛知県農業総合試験場管理課長]
主査	竹 内 武 彦
主事	木 造 直 美
農政課長	古 井 正 司
課長補佐	鳥 居 英 一
主査	倉 友 五 郎(平成22年4月16日付け)
技師	麻 生 昌 宏

よろしくお願ひします！

事務局職員一同

今後の主な行事予定

4月 7日（水）平成22年度全国情報会議（東京都・椿山荘）

4月 8日（木）組織活動・情報推進特別対策会議（東京都）

4月15日（木）常任会議員会議（白壁庁舎）

4月28日（水）農業委員会職員新任者研修会（愛知県水産会館）

5月18日（火）常任会議員会議（諮問及び農政会議）（白壁庁舎）

5月27日（木）全国農業委員会会長大会（東京都・日比谷公会堂）

～28日（金）農業関係施設視察（東京都）

平成22年度の常任会議員会議は、原則として午前10時30分開催となりますのでご留意ください。

¶ 全国農業新聞・全国農業図書からのお知らせ

平成22年度は、昨年度の改正農地法等の運用が確実に浸透普及するかどうかの大切な年になります。

新農地制度を、広く国民の皆様に、分かりやすく理解していただくために、全国農業新聞(週刊)及び全国農業図書のこれまで以上の活用をお願いします。

特に、全国農業新聞は、今年の普及状況の結果で、「愛知版」を継続発行できるかどうか懸っています。県内の相互の情報発信だけでなく、県外へも愛知県の元気を発信する手段として、「愛知版」の存在意義は大きなものがあります。よろしくお願ひします。